

文化の森には、子どもたちが遊ぶ遊具はありません。しかし、子どもたちは自然の中から遊ぶ場を自分たちで発見し、楽しそうに遊んでいます。

その一つに、芝生広場にある大きな木の株があります。子どもたちはこの株に腰かけたり、花を添えたりしています。

この株は昭和34年の伊勢湾台風で倒れた木を切り取り、そこに残されたものだそうです。

平成12年に文化の森のオープニングで行われた野外劇「真夏の夜の



▲木の株で遊ぶ子どもたち

夢」で妖精が使用する舞台セットとして、森から運ばれ置かれたものでした。以来、芝生広場で静かに来館者を見守っています。